

**CASBEE-広島 (2010年ver.1)**  
**(仮称)広島BPTフィットネス棟**

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります  
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版  
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.8</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.36</b>					<b>2.9</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.7</b>	0.19					<b>2.7</b>
<b>1.1 騒音</b>		<b>3.0</b>	0.71					
1 暗騒音レベル		3.0	1.00					
2 騒音レベル								
<b>1.2 遮音</b>		<b>3.0</b>	0.17					
1 開口部遮音性能		3.0	0.60					
2 界壁遮音性能		3.0	0.40					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
<b>1.3 吸音</b>		<b>1.0</b>	0.11					
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.8</b>	0.39					<b>2.8</b>
<b>2.1 室温制御</b>		<b>3.4</b>	0.50					
1 室温設定	冬季22℃、夏季24℃の室温を確保。テナント物販は未定。	4.0	0.44					
2 室温変動の抑制								
3 外皮性能		3.0	0.21					
4 ゾーン別制御性		3.0	0.35					
5 室温変動の抑制								
<b>2.2 湿度制御</b>		<b>1.0</b>	0.20					
<b>2.3 空調方式</b>		<b>3.0</b>	0.30					
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.1</b>	0.13					<b>2.1</b>
<b>3.1 昼光利用</b>		<b>1.9</b>	0.33					
1 昼光率		1.0	0.51					
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		3.0	0.49					
<b>3.2 グレア対策</b>		<b>1.0</b>	0.25					
1 グレア対策								
2 昼光制御		1.0	1.00					
<b>3.3 照度</b>		<b>3.0</b>	0.13					
1 照度		3.0	1.00					
2 照度								
<b>3.4 照明制御</b>		<b>3.0</b>	0.29					
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.7</b>	0.29					<b>3.7</b>
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>4.0</b>	0.50					
1 化学汚染物質	建材はF☆☆☆☆を100%使用	4.0	1.00					
2 化学汚染物質								
<b>4.2 換気</b>		<b>3.0</b>	0.30					
1 換気量		3.0	0.42					
2 自然換気性能		3.0	0.15					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.42					
4 換気設備								
<b>4.3 運用管理</b>		<b>4.0</b>	0.20					
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50					
2 喫煙の制御	ビル全体禁煙	5.0	0.50					
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>					<b>3.0</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.6</b>	0.40					<b>2.6</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>3.0</b>	0.49					
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応								
3 バリアフリー計画		3.0	1.00					
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>1.8</b>	0.34					
1 広さ感・景観	テナント物販CH=3.3m	4.0	0.17					
2 リフレッシュスペース		3.0	0.17					
3 内装計画		1.0	0.66					
<b>1.3 維持管理</b>		<b>3.5</b>	0.17					
1 維持管理に配慮した設計	通路の腰壁、水廻りのタイル貼り等防汚に配慮した内装仕上	4.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.0</b>	0.31					<b>3.0</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.48					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>3.2</b>	0.33					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	プール・浴室部ダクトはポリ塩化ビニルライニング鋼板を使用。	4.0	0.08					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な配管はVLP、PLP、VPだが、温水管にSGP(黒)使用	4.0	0.15					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23					

2.4 信頼性			3.0	0.19		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.5	0.29		-	3.5
3.1 空間のゆとり			4.3	0.31		-	
1	階高のゆとり	テナント物販 階高 4.45m	5.0	0.31		-	
2	空間の形状・自由さ	0.1 ≤ 壁長さ比率 < 0.3	4.0	0.69		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31		-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.38		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性	躯体、仕上を痛めることなく更新可能	5.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性	躯体、仕上を痛めることなく更新可能	5.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.34		-	2.6
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		市民球場と一体感のある建物形状	4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.7
1 建物の熱負荷抑制		外壁に断熱パネル使用	3.3	0.17		-	3.2
2 自然エネルギー利用			3.0	0.24		-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化		ERR=44.5	5.0	0.36		-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.24		-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.6
1 水資源保護			3.0	0.15		-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40		-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		-	
2	雑排水再利システム導入の有無		3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.9	0.63		-	3.9
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	天井: エコマーク(ロックウール化粧吸音板)、床: エコマーク(ビニル床材)、壁: グリーン(磁器質タイル)	5.0	0.21		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	鉄骨造のため躯体と仕上材の分離が容易	5.0	0.25		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.22		-	3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用		4.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	断熱材		3.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.3
1 地球温暖化への配慮		設備システムの効率化	5.0	0.33		-	5.0
2 地域環境への配慮			2.5	0.33		-	2.5
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25		-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減	市指導要綱に適合した雨水流出抑制対策を実施	4.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			2.4	0.33		-	2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			1.6	0.40		-	
1	風害の抑制		1.0	0.70		-	
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	